

## 平成目安箱への回答 No.45 「西駐輪場が民営化、無駄使いやめ新築再考を」について

担当主管課：町民課町民協働係（内線 236）

要望等内容	回答
<p>町は、西駐輪場は民間との再契約ができないからと駐輪場整備目的などで購入した駅前用地に東西駐輪場を合わせた規模の駐輪場新築を決定した。</p> <p>しかし、この西駐輪場では3月25日から使用申し込みを始めています。どういことですか。誰が考えても大規模駐輪場の新築は必要がなくなります。</p> <p>町と民間業者が協議し、協力・共同すれば当分の間大規模な駐輪場建築は回避できます。図書館駐車場への一部分散化で駐輪需要に対応できます。</p> <p>新築費はドンドン上がって5億円です。お金の無駄使いをやめ、駅前用地をより広く自然を生かした活用にできれば、町民や訪町者で大磯駅前以外の町にはない大磯らしい雰囲気になるのではないのでしょうか。再考を提案します。</p>	<p>町政につきましては、日ごろよりご理解、ご協力をいただきありがとうございます。</p> <p>さて、大磯駅前の新たな自転車等駐車場の建設再考についてですが、町では西自転車等駐車場の所有者へ支払う賃貸借費用への負担や東自転車等駐車場の耐震性、老朽化に伴う大規模改修への対応を図らなければならないことから、東西の2箇所を設置していた自転車等駐車場に代わる、新たな自転車等駐車場整備の必要性から平成 24 年に新たな自転車等駐車場の整備を目的に駅前の用地を購入し、現在建設に向けた整備を進めています。</p> <p>整備計画を進めるにあたりましては、町でも西自転車等駐車場の契約更新につきまして、所有者の方と賃貸借料等を含め協議を重ねてまいりましたが、契約更新の合意に至る事ができませんでした。また、協議経過の中におきましても、所有者側から、引き続き駐輪場を運営する意思はない事や、具体的な土地利用は未定の状態であるが、新たな土地利用を検討していく事を伺っていました。そのため、既存建物を活用した5月からの自転車等駐車場の運営については、最近になりお聞きした次第です。</p> <p>このような経過の中で、町といたしましても、自転車等の利用環境や安全で良好な生活環境の向上、また、今後も継続した放置自転車が安全できれいな駅前の雰囲気が持続できるよう大磯駅前周辺の放置自転車等の対策にも、長期的な視点を持ち対応を図っていかねばなりません。</p> <p>新たな自転車等駐車場につきましては、景観面やコスト面、安全面なども考慮しながら整備計画を進めていますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。</p>

目安箱受付日：H26. 3. 28

掲示日：H26. 5. 13